

## ThoughtSpot と Google Cloud のアライアンス強化

### — 日本の企業向けエージェント型アナリティクスを加速

*ThoughtSpot が日本の Google Cloud Marketplace で提供されることにより、日本企業のクラウド予算最適化とコンプライアンス/プライバシー強化を実現します*

東京、日本 – 2026 年 5 月 28 日 — AI エージェント型分析プラットフォーム企業である

[ThoughtSpot](#) は本日、日本における Google Cloud での ThoughtSpot の提供開始を発表しました。日本企業は [Google Cloud Marketplace](#) を通じて ThoughtSpot プラットフォームの全機能に即座にアクセスできるようになり、AI エージェント型分析基盤の構築および拡大への多くの選択肢を得られます。

日本企業のほとんどが、AI エージェントの進歩がもたらす可能性を認識しています。昨年、日本は主要な AI 関連法「[人工知能関連技術の研究開発及び活用の促進に関する法律](#)」を制定したアジア太平洋地域で 2 番目の主要経済圏となりました。この動きは、世界で最も「AI フレンドリーな国」を目指すという日本の国家目標への一歩であると同時に、国内企業による投資拡大を反映したものです。

Google Cloud の日本リージョンでの ThoughtSpot 提供により、Google Cloud および ThoughtSpot のお客様は Google Cloud エコシステム内で統合的なデータ分析基盤の構築や拡張が可能となり、クラウドおよびデータ基盤への投資からより大きな価値を引き出せるようになります。また、機密性の高い消費者データを日常的に取り扱う企業が、日本の法律に基づく厳格なデータプライバシー基準を継続して遵守できる環境も整います。

「Google Cloud Marketplace への ThoughtSpot プラットフォームの提供により、お客様は Google Cloud の信頼性の高いグローバルインフラ上で AI エージェント型データ分析を迅速にデプロイ・管理・拡張できるようになります」と、Google Cloud の Marketplace & ISV GTM プログラム担当マネージングディレクターの Dai Vu 氏は述べています。「ThoughtSpot は GCP 上でセキュアにスケールし、お客様のデジタルトランスフォーメーションをサポートしていきます。」

## グローバルのメリットとローカルの要件を両立

ThoughtSpot と Google Cloud はともに長年にわたり顧客第一の精神を大切にしており、それが世界で最もダイナミックな企業の成功の後押ししてきました。今回の提供開始により、日本企業は高度な AI エージェント型データ分析プラットフォームの恩恵を享受しながら、日本市場特有の規制・予算・業界固有の要件も満たすことができます。

日本リージョンでの提供における主なメリットは以下のとおりです：

### ● 規制に対応した AI の導入

ThoughtSpot が Google Cloud 東京リージョンで利用可能になったことで、日本企業はデータを既存のクラウドデータプラットフォーム内に保持し、自社のガバナンス管理下に置きながら、AI を活用したデータ分析を利用できます。これにより、金融サービスや製造業などの業種において、データを管理環境の外部に移動・複製することなく、厳格な規制・セキュリティ・データレジデンシー要件を満たすことが可能です。

### ● 既存の Google Cloud 投資の最大活用

お客様は ThoughtSpot を既存の Google Cloud 環境にシームレスに統合し、コミット契約や購入済みクレジット、統合されたアーキテクチャを活用できます。Google Cloud 環境から離れることなくデータのモデリングと分析が可能となり、追加のインフラ複雑性を生むことなくクラウド投資の価値創出を加速します。

### ● AI ユースケースの本番稼働までの時間短縮

東京リージョンでの提供により、レイテンシが低減し、クロスリージョン依存が解消されます。これにより、企業全体でリアルタイムデータ分析および AI エージェント型アプリケーションの迅速な導入と拡張が可能になります。

### ● ローカライズされた調達手段

日本における Google Cloud Marketplace での ThoughtSpot 全面提供により、国内外の企業が日本円での支払いや、コミット契約の Google Cloud クレジットの活用が可能となります。

## ● マルチテナンシーニーズへの対応強化

Google Cloud 上で ThoughtSpot を国内提供することで、企業はデータガバナンス戦略への影響や「ノイジーネイバー」問題を心配することなく、マルチテナンシーの拡張によるメリットを享受できます。

## ● 決定論的な AI インサイト

[Spotter Semantics](#) により、日本のお客様は業界をリードするセマンティックレイヤーを活用でき、自然言語検索の結果が正確で再現性があり、各業界・ビジネス文脈に即したものとなります。

「日本市場において明確な変化が起きています。企業は従来の BI（ビジネスインテリジェンス）の枠を超え、各業界やビジネスに固有のデータ・規制・用語を反映した AI 駆動のデータ体験を積極的に求めています」と、ThoughtSpot Japan ゼネラル マネージャーの山下和代は述べています。「ThoughtSpot のお客様においても、この動きは明確に表れています。製造業のお客様は、リアルタイムの生産パフォーマンス監視やサプライチェーンリスクの把握のために ThoughtSpot を活用しています。金融サービスのお客様は、顧客行動の変化をより精緻に分析し、不正行為やマネーロンダリングの兆候を早期に検知できるようになっています。Google Cloud 上で ThoughtSpot を国内提供することで、日本のお客様は既存のクラウド投資を最大限に活用しながら、厳格なデータガバナンスおよび規制要件を満たすことができます。多くの企業にとって、これは AI エージェント型データ分析の高効率な運用と真のビジネスインパクトの実現に向けた重要な一歩となるでしょう。」

ThoughtSpot は Google Cloud Next Tokyo でもこれらの機能を展示する予定です。来場者は AI エージェント型データ分析プラットフォームが日本企業の意思決定をどのように変革しているかを実際に体験できます。

ThoughtSpot と Google Cloud が日本のデータ探索をどのように変えているかについては、[パートナーシップページ](#)をご覧ください。

## ThoughtSpot について

[ThoughtSpot](#) は、すべての企業がインサイトを行動へと変換できるよう支援する [エージェント型アナリティクス・プラットフォーム](#) です。誰もがあらゆるデータを手軽に探索し、あらゆる質問を投げかけ、実用的なインサイトをより迅速に発見できるプラットフォームを提供することで、より事実に基づいた世界を実現することが私たちのミッションです。プラットフォームの統合機能は、アナリティクスワークフローのあらゆる段階を自動化する専門的な Spotter エージェントの包括的なスイートによって強化されており、アナリスト、データエンジニア、開発者、ビジネスユーザーがリアルタイムの実用的なインサイトを提供し、成長を促進できるよう支援します。エージェント型 AI と ThoughtSpot の直感的な自然言語検索を組み合わせることで、すべてのユーザーがデータからプロアクティブなインサイトを自信を持って発見し、インパクトあるリアルタイムの意思決定を実現します。ウェブおよびモバイルアプリからアクセス可能な ThoughtSpot は、いつでもどこでもシームレスにインテリジェントな意思決定を実現します。価値創出を目指す企業向けに、[ThoughtSpot Embedded](#) はローコードソリューションを提供し、AI 駆動のアナリティクスを製品やサービスに直接統合することで、すべてのアプリケーションをインテリジェントな体験へと変え、データの収益化とユーザーエンゲージメントの向上を促進します。Lyft、Comcast、Unilever、Roche、Schneider Electric、Huel、HubSpot などの業界リーダーが、ThoughtSpot を活用してデータを活かしたより良いビジネス成果の創出に取り組んでいます。[ThoughtSpot のトライアル](#) を今すぐお試しください、新たなアナリティクスの時代をご体験ください。